

(様式2)

パブリックコメント実施結果報告書

令和6年4月18日

担当課	教育総務課
担当者	松尾 聡
連絡先	0857-26-7914

パブリックコメントのテーマ：鳥取県教育振興基本計画の改定案について

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
5 (3)	7 (1)	35 (4)	()	()	()	()	47 (8)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	4	・「『届ける家庭教育支援』体制の構築」とされているが、実際に構築するとなると困難と考える。「…体制の構築を目指す」とするのが良いと思う。 ・「児童生徒が端末を創造的に活用しながら問題解決を図れるよう情報活用能力を育成します。」とある。情報活用能力とは端末を活用する能力ではないと考えるが、この表現ではそのように理解されないと危惧する。
既に盛り込み済み	8	・学校図書館を活用することが将来図書館を使う生涯学習の育成にもなると思うので、学校図書館教育の充実を入れて欲しい。 ・インクルーシブ教育を実現するためには、教員の増員や多職種との連携、障がい理解して障がいのある子の尊厳を学ぶ必要がある。
今後の検討課題	7	・「教育データの分析・利活用」にあたっては、格差是正の観点からの活用が求められるのであり、IT企業の情報収集には規制をかけるべきである。 ・高校の「再編・統廃合」はすべきではない。全ての学校で35人学級、中山間地に多い1学年3学級以下の学校は30人学級にし、担任が生徒一人一人の課題に対応できる学級規模にすべきである。
対応できない	10	・「主権者教育」「消費者教育」の必要性は理解するが、学習指導要領は内容が過剰となっており、内容を精査し減らすよう見直す必要がある。 ・学校の安全・安心な教育環境づくりを進めるためにも、学校技能職員を正規で全校配置（高校は2人）すべきである。
その他上記に分類 できないもの	18	・「多様な教育ニーズに応じた誰一人取り残さない学びの創造」が目標項目として独立して明記されたことを評価したい。 ・「国際バカロレア教育を推進する」とあるが、一部の県立高校だけでなく全ての県立高校で進めるということと理解されるが、それで良いか疑問である。
計	47	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表（担当課による）	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他
		○			○